

## 啓発事業の実践経験の報告

安徳晴美 福岡過労死を考える家族の会代表

### 《報告要旨》

福岡過労死を考える家族の会は2017(平成29)年10月に設立されました。福岡家族の会(略称)は、過労死で大切なご家族を亡くされた方、ご家族が働き過ぎで病気となられた方などを支援し、交流を図り共に分かち合い、共に歩むことを目的とし日々活動しています。

#### ◎「働くことについて考える授業」啓発授業について

めあて:命より大切な仕事はありません

◎過労死は誰にでも起こりうる、知らないうちにすぐそこに忍び寄るという事を、過労死に至った経緯を聞くことで、幸せに生きるために懸命に働いた結果が過労死とならないように身の守り方を考え行動できる人になる。

◎過労死遺族のあじわった 喪失感、自責の念、空虚感、不安感、そのような思いを聞き、命の尊さと大切な命を守ることの大切さを知る。

学生さんへ毎回過労死遺族からとして、5つお伝えしています。

- ・1、人間らしい生活、幸せを感じる生活
- ・2、知る～法律、権利～
- ・3、自分の身体との対話を忘れずに
- ・4、相談先を持つ～一人で悩まない～
- ・5、声をかけて～誰かの心の包帯になって～

### 《実施状況》

啓発授業を希望する学校も徐々に増えています。遺族の授業者も2名となりました。

(これまでに開催した学校は麻生医療福祉専門学校、久留米工業大学、高等専修学校 C&S 学院、西南女学院大学、講倫館高校、鞍手高校、姫路獨協大学、鎮西学院大学、九州大学)

◎ホームページ『Zinnia -Stop!!「Karoshi」働く意味を見つめ直す』の活用

ホームページでの過労死防止の発信をしています。(https://zinnia-q.com)

過労死遺族の手記や弁護士による労働問題に関する解説。家族の会の相談窓口。福岡家族の会と連携する相談機関の連絡先を掲載。学生さんへこのホームページの紹介と、このホームページにすぐにアクセスできるQRコードが印刷されたカードを渡しています。